

IV 乳牛及び肉用牛の飼養規模の拡大に関する事項

1 乳牛

(1) 飼養構造

地区域名		①総農家戸数	②飼養農家戸数	②／①	乳牛頭数		1戸当たり平均飼養頭数 ③／②
					③総数	④うち成牛頭数	
網走	現在	戸 343	戸 20	% 5.8	頭 2,987	頭 1,710	頭 149.4
	目標		18		3,136	1,796	174.2

(2) 飼養規模の拡大のための取組

営農支援組織の強化や地域営農支援システムの確立、畜産クラスター事業等を活用した規模拡大、組織経営体の育成、ICTやIoT技術を活用した省力化に対する支援を実施します。また、牛群検定情報等の活用による適切な飼養・繁殖管理、性判別精液の活用等による必要な乳牛頭数の確保の取組を推進します。

2 肉用牛

(1) 飼養構造

	地域名		① 総農家数	② 飼養農家 戸数	②/①	肉用牛飼養頭数							
						総数	肉専用種			乳用種等			
							計	繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種
繁殖専用種 肉専用種 経営種	網走	現在	戸 343	戸 21	% 6.1	頭 1,761	頭 1,761	頭 1,109	頭 40	頭 612	頭 0	頭 0	頭 0
		目標	/	21	/	1,849	1,849	1,164	42	643	0	0	0
肥育専用種 肉専用種 経営種	網走	現在	343	3 (2)	0.9	59	59	() (40)	59		0		
		目標	/	3 (2)	/	62	62	() (42)	62		0		
乳用種・交雑種 肥育経営種	網走	現在	343	1 ()	0.3	36					36		36
		目標	/	1 ()	/	36		() ()			36		36
乳用種・交雑種 育成経営種	網走	現在	343	1	0.3	120					120		120
		目標	/	1	/	120		() ()			120		120

※ () 内には一貫経営に係る分（肉専用種繁殖経営、乳用種・交雑種育成経営との複合経営）について内数を記入している。

(2) 飼養規模拡大のための取組

遺伝的能力を十分に発揮するための飼養管理技術の向上、地域の飼料資源等の活用や品種特性を活かした肉用牛生産の推進、肥育技術の普及等による道内肥育仕向け率の向上などに重点をおいた取組を推進します。

ア 肉専用種繁殖経営

所得の確保・増大に向け、耕種・酪農との複合経営の育成と生産効率の改善を図り、肉専用種の生産を推進します。

イ 肉専用種肥育経営

育種改良や肥育技術の向上により、肉質の斉一性と肉量の確保を図り、自動給餌機などを活用した営農システムの構築による省力化と規模拡大を推進します。

ウ 肉専用種一貫経営

繁殖農家に対する肥育技術の導入及び肥育農家に対する繁殖技術の導入等により、一貫経営への移行を推進します。

エ 乳用種・交雑種の育成経営、肥育経営、一貫経営

酪農家による初生牛の適正管理と導入後の疾病対策等により事故率の低減を図るとともに、哺乳ロボット等の導入による省力化を推進します。

また、ほ場副産物や粗飼料の有効活用等による低コスト生産を促進するとともに、哺育・育成経営や肥育経営の一貫経営への移行により、安定した経営の確立と規模拡大を推進します。